

愛媛県新居浜市角野校区  
地区防災計画



えんとつ山・安心と安全のまち「すみの」

令和5年2月

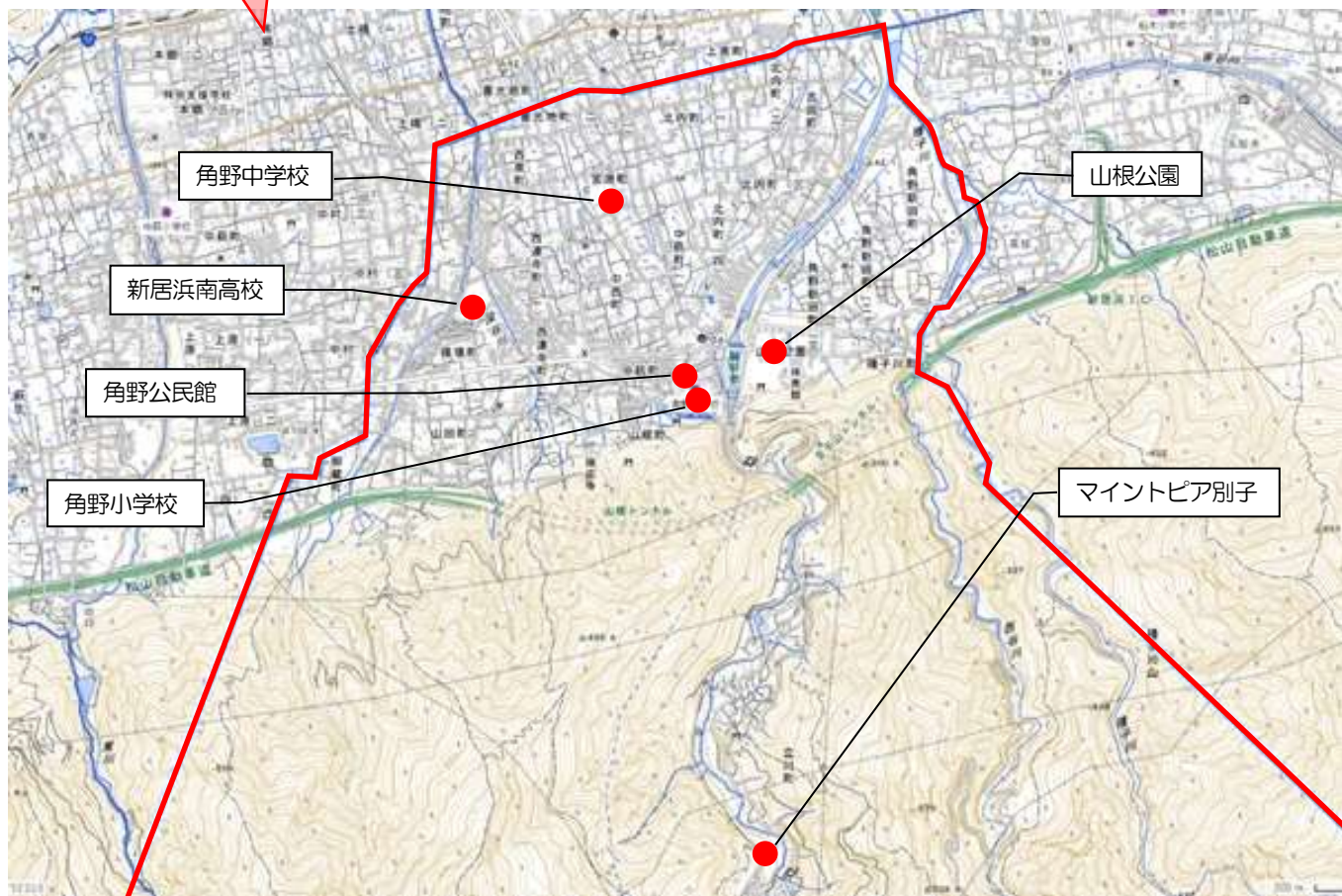
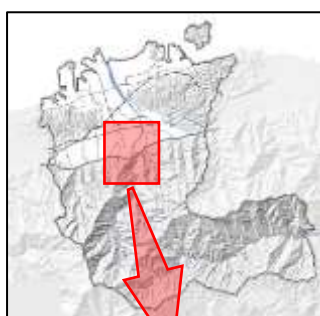
## 1 地域の概要

角野校区は、市の南部に位置し、中央構造線断層帯が東西に横断し、山間部は土砂災害警戒区域に指定されており、二級河川の国領川をはじめ、種子川、東川、深谷川など多くの河川が存在しています。

校区内には、角野公民館、角野小学校、角野中学校、新居浜南高校、山根体育館、マイントピア別子があり、災害時には避難所として活用されますが、角野小学校と角野公民館は土砂災害警戒区域内に立地していることから、状況によっては他の避難所への避難が必要となることも考えられます。平成16年に大規模な土砂災害が発生し、立川地区の住民が孤立したことがありました。

国領川の右岸の山沿いのグラウンドや体育館がある山根公園は拠点ヘリポートになっている。

また、校区内の住宅地には、スーパーマーケット、ドラッグストアが多くあり、災害時における物的支援の供給が期待できます。



## 2 社会特性

### (1) 世帯・人口構成及び比率

(令和5年1月現在)

世帯	比率(%)	人口	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)
5,483	9.5	11,176	9.7	5,251	9.4	5,925	9.9

### (2) 避難行動要支援者数(市で確認済みの人数)

(令和5年1月現在)

対象者数	同意	不同意	その他
288	192	36	60

## 3 自然特性・災害特性(地域で起こりうる災害)

### (1) 被害想定

想定震度	津波浸水深及び浸水開始時間	液状化危険度
6強	なし	極めて高い(30<PL)※
土砂災害	洪水浸水	ため池浸水
特別警戒区域	0.5～3m 家屋倒壊あり	なし
警戒区域		

※ PL=液状化可能性指数。数値が大きいほど液状化の危険性が高くなる。

### (2) 地理的特性

流域河川	二級河川	国領川、尻無川、深谷川、種子川
	普通河川	西谷川、重藪谷川、金毘羅谷川、西金毘羅谷川、深谷東川、東尻無川
洪水浸水想定区域	北内町一～四丁目、吉岡町、角野新田町一～三丁目	
土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域	中村四丁目、御蔵町、西連寺町一・二丁目、篠場町、山田町、山根町、中西町、中筋町一・二丁目、種子川町、立川町	
南海トラフ巨大地震による津波浸水想定区域	なし	

### (3) 想定される災害

災害種別	被災内容	備考
地震	想定震度6強(建物倒壊、液状化)	
津波	なし	
洪水	最大想定浸水深0.5m～3m(想定最大規模)	
土砂災害	土石流、急傾斜地の崩壊、地すべり	

#### 4 防災の取組状況（予定）

取組時期	取組内容	対象
毎年8月中旬	校区防災訓練（地震体験、土のう作成、避難所設営等）	地域住民 小学生 中学生 高校生

#### 5 災害時の課題

区分	課題
地震	中央構造線（岡村断層）
水害・土砂	土砂災害（土石流、急傾斜地、地すべり） 国領川など堤防の決壊・氾濫による大水害

#### 6 災害時の現状

区分	現状
地震	傾斜地の石垣やブロック塀が多い。 倒木、道路、橋、ライフライン等の被害が想定される。
水害・土砂	国領川・尻無川水系などの堤防の決壊や氾濫による大水害が考えられる。 北内・吉岡・角野新田地区への国領川や種子川の浸水被害がある。 山地の土砂崩れ（立川・篠場・山根など山沿いの地区）、倒木や流木による災害がある。 農業用幹線水路がある。
避難所開設運営	避難所（角野小学校、角野公民館）が山沿いにある。
自助共助の向上	防災意識が低い。
要支援者の支援	個人情報の問題がある。
その他	

## 7 災害時の対策

区分	対策
地震	屋内の家具の転倒防止、ライフライン（ガス・電気・水道）の対策を行っておく。
水害・土砂	まちあるきを行い、危険箇所を把握する。
避難所開設運営	避難所の空調、トイレ、ガス、水道、電気、寝具の整備を図る。 非常食の準備（食料の備蓄）及び炊出しを行う。 各避難所へ発電機等を配備する。 資機材を収納する備蓄倉庫を設置する。 ペットスペースや障がい者への対応を検討する。
自助共助の向上	校区防災会の取り組みを充実させる。 単位自治会等の防災会設立を進め、連携を強化する。 食料、資機材の充実を図る。 自治会の絆、コミュニティの活動を充実させる。 テレビ、ラジオ（防災ラジオ）、J-アラート、ホームページ（気象庁、県、市、国交省）から情報を入手する。 近所間、家族間で声掛け及び安全確認を行う。 薬手帳、お金、保険証などの持参を考慮しておく。 常に避難（防災）グッズ、3日分の飲食物を準備し、ローリングストック（賞味期限の確認）など定期点検を行う。
要支援者の支援	事前に要支援者の支援準備を行う。 要支援者名簿の取扱いをオープンにするため、地元や市と協議する。
その他	防災意識や知識が弱いのでPRを行う。 防災訓練を充実する。 自治会の加入率向上など、コミュニティの充実と活性化を図る。

## 8 緊急避難場所及び避難所

施設名		収容人数		使用制限
		緊急避難場所として	避難所として	
角野小学校	校舎	5,600	1,398	
	体育館	1,033	258	風水害一部×
	グラウンド	15,797	—	
角野中学校	校舎	4,332	1,083	
	体育館・武道場	1,796	448	
	グラウンド	10,934	—	
新居浜南高校	校舎	7,496	1,873	
	体育館・武道場	1,430	357	
	グラウンド	13,445	—	
角野公民館		864	216	
上部高齢者福祉センター（上部シニアセンター）		614	153	
マイントピア別子3階あかがねの間		1,586	396	
山根総合体育館（2階）		787	196	
山根公園		102,000	—	
喜光地公園		1,700	—	

## 9 自主的な緊急避難場所

施設名	受け入れ対象地区	使用制限	備考
城主集会所	城主自治会		
西連寺自治会館	西連寺自治会		
吉岡自治会館	吉岡自治会及び周辺住民	風水害2階以上	
篠場自治会館	篠場自治会	風水害×	
中筋自治会館	中筋連合自治会全体		
西泉自治会館	西泉自治会		
角野新田自治会館	角野新田自治会		
山田自治会館	山田自治会	土砂災害×	
立川自治会館	立川自治会	地震・土砂災害×	
宮喜連合自治会館	宮喜連合自治会全体		

## 10 防災活動計画（5ヶ年計画）

### （1）校区

実施内容 (実施対象)	年度計画					目標
	R5	R6	R7	R8	R9	
町歩き危険箇所の把握 (9ブロック別)	検討	実施	⇒	⇒	⇒	防災会（自治会）、学校、PTA、交通安全協会、高齢者、土地改良区等と協同で調査し、マップ・内容を把握
自治会単位などの自主防災会の設立 (ブロック又は自治会)	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	校区全体に設立
各種団体・組織と協定・協議 (校区全体)	検討	⇒	実施	⇒	⇒	防災意識の充実と向上・拡大

(2) 自治会

実施内容 (実施対象)	年度計画					目標
	R5	R6	R7	R8	R9	
自主防災組織の設立 (ブロック・単位自治会)	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	校区内 100%
防災資機材の充実と活用 (各単位防災会)	検討	実施	⇒	⇒	⇒	予算の確保 全防災会への配備を充実
自治会への加入促進 (自治会・家庭)	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	加入 100%

(3) 家庭

実施内容 (実施対象)	年度計画					目標
	R5	R6	R7	R8	R9	
防災グッズ・食料の備蓄 (家庭)	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	最低 3 日分
避難場所・ルート of 把握 (家庭)	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	マップの把握・実行動
防災訓練への参加 (家庭)	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	全員参加
家族の安否確認 (家庭)	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	日常から確認方法を決めておく。